

第83回 簿記実務検定第 3 級試験問題

商業簿記

(制限時間 1 時間 30 分)

1

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現	金	当	座	預	金	普	通	預	金	受	取	手	形
売	掛	金	有	価	証	券	仮	払	金	仮	払	消	費
建		物	買	掛	金		商	品	券	引	出	金	
売		上		固	定	資	産	売	却	益	仕	入	旅
手	形	売	却	損		固	定	資	産	売	却	損	

- a. 商品券 ¥80,000 を発行し、代金は現金で受け取った。
- b. 全商銀行に普通預金として現金 ¥650,000 を預け入れた。
- c. 売買目的で神奈川産業株式会社の株式30株を1株につき ¥62,000 で買い入れ、代金は買入手数料 ¥16,000 とともに小切手を振り出して支払った。
- d. 帳簿価額 ¥8,500,000 の建物を ¥7,900,000 で売却し、代金は小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。
- e. 従業員北海道二郎の出張にあたり、旅費の概算額として ¥50,000 を現金で渡した。
- f. 岩手商店から、商品代金として受け取っていた同店振り出しの約束手形 ¥400,000 を取引銀行で割り引き、割引料を差し引かれた手取金 ¥395,000 は当座預金とした。
- g. 青森商店から商品 ¥324,000 (消費税 ¥24,000 を含む) を仕入れ、代金は掛けとした。ただし、消費税の処理方法は税抜き方式により、仮払消費税勘定を用いている。
- h. 事業主が私用のため、店の現金 ¥20,000 を引き出した。

2

埼玉商店の次の取引を入金伝票・出金伝票・振替伝票のうち、必要な伝票に記入しなさい。ただし、不要な伝票は空欄のままにしておくこと。

取 引

1/月/7日 川口郵便局で郵便切手 ¥7,000 を買い入れ、代金は現金で支払った。(伝票番号 No. 9)

〳 日 戸田商店から借用証書によって借り入れていた ¥250,000 を小切手#20を振り出して返済した。(伝票番号 No. 16)

3

群馬商店の下記の取引について、

(1) 仕訳帳に記入して、総勘定元帳の現金勘定と売掛金勘定に転記しなさい。

(2) 売上帳と売掛金元帳に記入して、締め切りなさい。

ただし、i 商品に関する勘定は3分法によること。

ii 仕訳帳の小書きは省略する。

iii 元丁欄には、現金勘定と売掛金勘定に転記するときだけ記入すればよい。

取 引

1/月 6日 栃木商店から次の商品を仕入れ、代金のうち ¥150,000 は現金で支払い、残額は掛けとした。

A 品 800個 @¥300 ¥240,000

B 品 900〃 〃〃200 ¥180,000

1/0日 千葉商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

A 品 280個 @¥450 ¥126,000

1/2日 千葉商店に売り渡した上記商品の一部について、次のとおり値引きをおこなった。なお、この代金は売掛金から差し引くことにした。

A 品 60個 @¥ 50 ¥ 3,000

25日 茨城商店から売掛金の一部 ¥100,000 を同店振り出しの小切手#7で受け取った。

30日 茨城商店に次の商品を売り渡し、代金の一部については、下記の約束手形#/ /で受け取り、残額は掛けとした。

A 品 300個 @¥450 ¥135,000

B 品 500〃 〃〃320 ¥160,000

No. 11 約束手形		群馬県高崎市東貝沢町3-4 群馬商店 群馬 一郎 殿		支払期日 平成 〇 年 3 月 30 日	水戸 0801 0914-008
収入 印紙 200円 茨城	金額	¥200,000		支払地 茨城県水戸市	
	上記金額をあなたまたはあなたの指図人へこの約束手形と引き替えにお支払いいたします		支払場所 株式会社 全商銀行茨城支店		
平成 〇 年 1 月 30 日					
振出地 茨城県水戸市新荘3-7-2					
振出人 茨城商店					
茨城 太郎 (茨城)					

4

次の各問いに答えなさい。

(1) 次の各文の に入る金額を求めなさい。

a. 山形商店（個人企業）の当期の費用総額は ¥3,170,000 で当期純利益が ¥590,000 であるとき、当期の収益総額は ¥ ア である。

b. 福島商店（個人企業）の期首の資産総額は ¥2,610,000 であり、期末の資産総額は ¥2,790,000 負債総額は ¥1,470,000 であった。なお、この期間中の当期純利益が ¥390,000 であるとき、期首の負債総額は ¥ イ である。

(2) 宮城商店の次の勘定記録と当座預金出納帳から、(ア) と (イ) に入る金額を求めなさい。

ただし、借越限度額を ¥300,000 とする当座借越契約を結んでいる。

当 座 預 金		当 座 借 越	
1/1 前期繰越 110,000	1/5 仕 入 110,000	1/13 売 上 60,000	1/5 仕 入 (ア)
売 上		1/13 当座借越 60,000	

当 座 預 金 出 納 帳

平成 ○年	摘 要	預 入	引 出	借 また 貸 は	残 高
/ /	前月繰越	110,000		借	110,000
/ 5	仙台商店から商品仕入れ 小切手#26		()	貸	90,000
/ 3	大崎商店に商品売り上げ	()		()	(イ)

(3) 次の文の にあてはまるもっとも適当な語を、下記の語群のなかから選び、その番号を記入しなさい。

合計試算表は、仕訳帳から総勘定元帳への転記が正しくおこなわれたかを確かめるために作成する表であり、合計試算表の借方欄と貸方欄の合計金額は必ず一致する。これは によるものである。

1. 貸借平均の原理 2. 貸借対照表等式 3. 財 産 法

5

秋田商店（個人企業 決算年/回 /2月3/日）の決算整理事項は次のとおりであった。よって、

- (1) 精算表を完成しなさい。
- (2) 消耗品費勘定に必要な記入をおこない、締め切りなさい。ただし、勘定記入は日付・相手科目・金額を示すこと。

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ￥860,000
- b. 貸倒見積高 売掛金残高の2%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 備品減価償却高 取得原価 ￥1,150,000 残存価額は零（0） 耐用年数は5年とし、定額法により計算し、直接法で記帳している。

$$\text{定額法による年間の減価償却費} = \frac{\text{取得原価} - \text{残存価額}}{\text{耐用年数}}$$

- d. 現金過不足勘定の ￥12,000 は雑益とする。
- e. 引出金勘定の ￥170,000 は整理する。

第83回 簿記実務検定 3級 商業簿記 [答案用紙]

1	借方	貸方
a		
b		
c		
d		
e		
f		
g		
h		

1 得点	2 得点	3 得点	4 得点	5 得点	総得点
---------	---------	---------	---------	---------	-----

試験場校	受験番号

(2) (注意) 売上帳と売掛金元帳は締め切ること。

帳 上 売

1

[illegible]

帳元金掛売

千葉商店

1

[illegible]

茨 城 商 店

2

[illegible]

4

(1)

ア	2f	イ	2f
---	---------------	---	---------------

(2)

ア	2f	イ	2f
---	---------------	---	---------------

(3)

--

2

得点

3

得点

4

得点

(1)

精 算 表

平成〇年/2月3/日

[illegible]

(2) (注意) 勘定には、日付・相手科目・金額を記入すること。

消 耗 品 費			17
4 /21	現 金	24,000	
9 /15	現 金	38,000	

5
得点

1	借 方		貸 方	
	借	方	貸	方
a	現 金	80,000	商 品 券	80,000
b	普 通 預 金	650,000	現 金	650,000
c	有 価 証 券	1,876,000	当 座 預 金	1,876,000
d	当 座 預 金 固定資産売却損	7,900,000 600,000	建 物	8,500,000
e	仮 払 金	50,000	現 金	50,000
f	当 座 預 金 手 形 売 却 損	395,000 5,000	受 取 手 形	400,000
g	仕 入 仮 払 消 費 税	300,000 24,000	買 掛 金	324,000
h	引 出 金	20,000	現 金	20,000

2		入 金 伝 票		出 金 伝 票	
		平成〇年 月 日		平成〇年 1月17日	
科目	摘 要	入金先		支払先	
		金 額	金 額	金 額	金 額
				川口郵便局 殿	
				郵便切手購入	7000
合 計				合 計	7000

振 替 伝 票		No. 16	
		平成〇年 1月17日	
勘 定 科 目	借 方	勘 定 科 目	貸 方
借 入 金	250000	当 座 預 金	250000
合 計	250000	合 計	250000
戸田商店へ借入金を返済 小切手 # 20			
摘要			

3		仕 訳 帳		1	
		平 成 〇 年		借 方	
/	/	前 期 繰 越 高 額 入 金	4,920,000	借 方	4,920,000
6	(仕 入)	(現 金)	420,000		
		(買 掛 金)	150,000		
10	(売 掛 金)		270,000		
		(売 上)	126,000		
12	(売 上)		3,000		
25	(現 金)		100,000		
		(売 掛 金)	3,000		
30	諸 口 (売 上)		100,000		
	(受 取 手 形)		200,000		
	(売 掛 金)		95,000		

総 勘 定 元 帳		現 金		1	
		平 成 〇 年		借 方	
/	/	前 期 繰 越 高 額 入 金	4,920,000	借 方	4,920,000
25	売 掛 金	1	100,000	仕 入	150,000
売 掛 金					
4					
/	/	前 期 繰 越 高 額 入 金	4,920,000	借 方	4,920,000
10	売 上	1	126,000	売 上	3,000
30	売 上	〃	95,000	現 金	100,000

(2) (注意) 売上帳と売掛金元帳は締め切ること。

平成 〇年		上 帳		1	
平成 〇年	摘	要	内 訳	金 額	
1 10	千葉商店	掛け			
	A 品	@¥450			126,000
12	千葉商店	掛け値引き			
	A 品	@¥50			3,000
30	茨城商店	約手・掛け			
	A 品	@¥450	135,000		
	B 品	〃〃320	160,000		295,000
31		総売上高			421,000
〃		売上値引高			3,000
		純売上高			418,000

売 掛 金 元 帳

千 葉 商 店					1
平成 〇年	摘	要	借 方	貸 方	残 高
/ /	前月繰越		280,000		280,000
10	売り上げ		126,000		406,000
12	売上値引			3,000	403,000
31	次月繰越			403,000	
			406,000	406,000	

茨 城 商 店					2
平成 〇年	摘	要	借 方	貸 方	残 高
/ /	前月繰越		190,000		190,000
25	回収			100,000	90,000
30	売り上げ		95,000		185,000
31	次月繰越			185,000	
			285,000	285,000	

4	ア	¥	3,760,000	イ	¥	1,680,000
---	---	---	-----------	---	---	-----------

(2)	ア	¥	90,000	イ	¥	30,000
-----	---	---	--------	---	---	--------

(3)	1	
-----	---	--

5

精 算 表

平成〇年/2月3/日

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	308,000						308,000	
当座預金	871,000						871,000	
売掛金	950,000						950,000	
貸倒引当金		4,000		15,000				19,000
繰越商品	834,000		860,000	834,000			860,000	
備品	920,000			230,000			690,000	
買掛金		963,000						963,000
前受金		200,000						200,000
資本金		2,450,000	170,000					2,280,000
引出金	170,000			170,000				
売上		8,207,000			8,207,000			
受取手数料		315,000				315,000		
仕入	6,210,000		834,000	860,000	6,184,000			
給料	1,044,000				1,044,000			
支払家賃	570,000				570,000			
水道光熱費	187,000				187,000			
消耗品費	62,000				62,000			
雑費	25,000				25,000			
現金過不足		12,000		12,000				
	12,151,000	12,151,000						
貸倒引当金繰入			15,000		15,000			
減価償却費			230,000		230,000			
雑益				12,000		12,000		
当期純利益				217,000		217,000		217,000
			2,121,000	2,121,000	8,534,000	8,534,000	3,679,000	3,679,000

(2) (注意) 勘定には、日付・相手科目・金額を記入すること。

消 耗 品 費				17
4/21	現金	24,000	12/31 損益	62,000
9/15	現金	38,000		
		62,000		62,000

(i 貸倒引当金繰入は、貸倒償却でもよい。
ii 勘定科目欄の当期純利益と損益計算書欄の217,000は赤字でもよい。)